

## 令和3年度の国内災害対応

令和3年度は、災害救助法が適用された大雨災害が4件と地震災害が1件発生しました。日本赤十字社では、その都度、被災地等に対するスタッフの派遣や救援物資の提供、全国で義援金を募集するなど、被災地支援を行いました。

### ○令和3年7月大雨災害

梅雨前線当の影響で、東海・関東地方で記録的な大雨となり、静岡県熱海市で大規模土石流が発生。また、九州・中国地方などで、線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所でも降り続いたため、土砂災害や洪水が発生。

### ○令和3年台風9号等大雨災害

台風9号が温帯低気圧に変わった後も、東北地方で大雨を降らせ、青森県北東部の各地で土砂災害が発生。

### ○令和3年8月大雨災害

前線の停滞により、九州北部や中国地方に発達した雨雲が流れ込み続け、各地で河川の氾濫や土砂災害が発生。



▲避難所で活動を行うところのケア班（静岡）

### ○令和3年長野県茅野市土石流災害

令和3年9月の土石流により、長野県茅野市内で家屋の浸水等の被害が発生。

### ○令和4年3月福島県沖地震災害

令和4年3月16日23時36分に、福島県沖で発生したマグニチュード7.4の地震。宮城県と福島県で震度6強の揺れを観測し、甚大な被害が発生。

### 【職員派遣や物資提供等の実績】

	令和3年7月 大雨災害	令和3年台風9号等 大雨災害	令和3年8月 大雨災害
救護班等の派遣	1班6人 避難者の健康観察等	—	19人 被災者宅への巡回訪問等
職員の派遣	49人 情報収集・こころのケア等	19人 情報収集等	2人 医療スタッフの派遣調整
毛布の配布	564枚	77枚	468枚
安眠セットの配布	30セット	40セット	386セット
緊急セットの配布	55セット	65セット	462セット
義援金の受付	4億3,433万2,026円 (8,393件) 受付終了	4,787万6,836円 (1,683件) 受付終了	3億5,723万8,476円 (6,054件) 受付終了

以下の2災害は職員派遣や物資提供の要請がなく、義援金の受付を実施。

【令和3年長野県茅野市土石流災害】《受付状況》3,831万5,046円（1,811件）受付終了

【令和4年3月福島県沖地震災害】《受付状況》4,898万9,915円（1,562件）R4.4.30時点（6/30まで）

※「義援金」が赤十字の事業に使われることはありません。全額が被災地へ送られます。

## 1 赤十字職員の派遣

ワクチン接種や患者対応、搬送等のため、赤十字職員を派遣し、現場での対応にあたりました。

延べ派遣人数 19, 180人 (R3.4.1からR4.2.28まで)

派遣業務：ワクチン接種、患者対応、患者搬送調整等

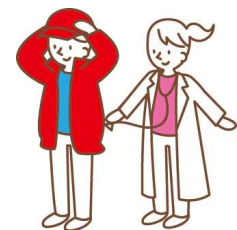
◇山口赤十字病院：DMAT隊員を延べ7人派遣 (R3.5およびR4.1)

派遣業務：宿泊滞在施設での患者対応

クラスター発生時の情報整理等

◇小野田赤十字病院：看護師を1人派遣 (R3.4)

派遣業務：宿泊滞在施設での患者対応



## 2 赤十字病院における対応

感染症指定医療機関・入院協力医療機関等として、全国の赤十字病院で患者さんを受け入れ、最前線で医療スタッフが日々懸命に治療にあたるとともに、ワクチン接種を行っています。

・入院患者受入 90施設 27, 334人  
(R4.4.10時点累計)

・外来患者対応 83施設 273, 221人  
(R4.4.10時点累計)

・ワクチン接種 75施設 441, 230回  
(R4.2.28時点累計)

◇山口赤十字病院：入院協力医療機関、

帰国者・接触者外来 診療・検査医療機関

◇小野田赤十字病院：入院協力医療機関、診療・検査医療機関

◆山口・小野田両病院でワクチン接種に対応

### 【参考】

国内の赤十字病院の数  
**91病院**

## 3 必要血液量の確保に向けた対応

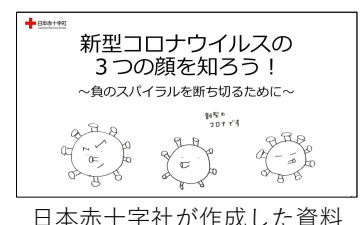
献血会場等での感染防止対策を講じたうえで、コロナ禍にあっても、安定的な輸血用血液製剤の供給に努めています。

⇒まん延防止等重点措置適用下では大変厳しい状況にあったが、必要な輸血量を確保するため、積極的に街頭献血を実施して対応

## 4 感染予防・啓発活動

引き続きホームページやSNSで情報発信を行っています。  
また、青少年赤十字向けの教材を活用して、感染予防から差別や偏見を防ぐための講演活動を行っています。

◇山口県支部：講師派遣6校〔小・中学校〕+2地域



日本赤十字社が作成した資料